

健康づくり食生活支援事業報告

平成16年度

北海道歯科医師会

1. 事業名

健康づくり食生活支援事業

2. 実施組織

北海道（歯科医師、保健師、栄養士）、食生活改善推進員団体連絡協議会、北海道栄養士会、北海道歯科衛生士会、北海道歯科医師会

3. 事業の目的

豊かな人生を送るために、「食」は当しく生き甲斐そのものであり、QOLに欠かすことの出来ないものである。また、今後は高齢者が人間らしく尊厳を持って生活することが重要であり、「尊厳の保持」が介護の基本理念として位置付けられている。そのためには、最後まで「人間らしく口から食べられる」ことが何より重要視されなければならない。キザミ食を減らし、チューブ栄養を減らし、最後のワンスプーンまで「口から食べられる」ことが、高齢者のQOLにとって如何に重要であるかを啓発し、食に関係するさまざまな職種と連携し、情報発信やシンポジウムの開催、運動推進員の養成などを通じて、この運動を広く推進していく。

4. 事業の概要

- 1) 平成16年10月2日（土）北海道歯科医師会館において『第1回いつまでも口から食べようシンポジウム』を下記内容のとおり開催し、約300名の参加者（医療関係、施設関係、看護師、介護福祉士、言語聴覚士、ホームヘルパー、ソーシャルワーカー、栄養士、調理師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、会社員、主婦 etc）があった。また、陶芸家（岩間成志氏／久二窯、恵波英雄氏／NAM工房）によるユニバーサルデザイン食器の展示も併せて行った。

○基調講演

演題／『口から食べること』

講師／北海道大学大学院助教授 鄭 漢忠

○パネルディスカッション

テーマ／『口から食べ続けることの必要性和知恵』

パネリスト／北海道大学大学院助教授 鄭 漢忠

空知保健福祉事務所保健福祉部社会福祉課主査 村井由美子

北海道栄養士会理事 加藤幾子

北海道歯科衛生士会副会長 野谷美輝子

札幌歯科医師会会員 藤本篤士

コーディネーター／北海道歯科医師会常務理事 福富 弦

2) ホームページおよびメールマガジンにより情報発信を行っている。
コンテンツの概要を以下に記す。

- ①口から食べることを継続するために必要な因子の検証
- ②高齢者のQOLあるいはADLにとり、口から食べられることの重要性和有効性を啓発
- ③高齢者にやさしい介護食の研究とレシピを提供
- ④摂食・嚥下リハビリテーションの紹介
- ⑤イコールパートナーとしての『運動推進員』を広く募集

5. 事業の評価

高齢者が健やかな生活を送るうえで、「経口摂取を維持すること」の栄養学的、かつQOLという観点からの重要性を検証すること、そして同時に参加者に対する啓発を目的としてシンポジウムを開催した。

パネルディスカッションにおいては、さまざまな職種の方による各々の立場からの検証と提言がなされた。歯科側からは当然のことながら基本的な役割として、「義歯の適合性」や「口腔ケア」の重要性が提言された。従来からの疾病・病態としての啓発ではなく、「栄養サポートとしての歯・口の機能」という切り口からの啓発は参加者にとって新鮮であり、その意味において有効性は充分にあったと実感している。

また、予想を大きく上回る多数の参加者、予定時間を超えるほどのフロアーとの活発な質疑応答から、一定の成果はあったと評価している。更に、共通のテーマのもとに他の関係職種と連携し、議論ができたことも大きな成果である。

しかしながら、この「いつまでも口から食べよう」という価値観を浸透させ、共通認識を広めていくためには、更なる積極的な持続性のある活動の取り組みが不可欠と考える。したがって、継続的にシンポジウムを開催することはもちろんであるが、広域である北海道の特殊性を考慮するとき、今後は札幌圏以外の地域においても、開催実施が必要とされる。併せて、この活動を通して「栄養関係職種の連携」「栄養サポートに対する医療保険・介護保険の評価」「人材育成」など、多くの課題の解決に向けての方向性を模索していきたい。

※その他別添資料参照

【別添資料】

- ・健康づくり食生活支援専門委員会名簿
- ・シンポジウム案内チラシ・プログラム
- ・シンポジウム道新広告
- ・シンポジウム概要の掲載記事
- ・ホームページの内容
- ・雑誌『悠悠と』掲載記事切抜き
- ・運動推進員会員証
- ・推進員募集チラシ

健康づくり食生活支援専門委員会

	氏 名	役 職 名
委員長	鄭 漢 忠	北海道大学大学院歯学研究科助教授
副委員長	福 富 弦	北海道歯科医師会常務理事
委員	秋 野 憲 一	北海道保健福祉部地域保健課主任技師
委員	千 葉 昌 樹	北海道保健福祉部地域保健課主査
委員	村 井 由美子	空知保健福祉事務所保健福祉部社会福祉課主査
委員	大 沼 フ ミ	北海道食生活改善推進員団体連絡協議会事務局長
委員	加 藤 幾 子	北海道栄養士会理事
委員	野 谷 美輝子	北海道歯科衛生士会副会長
委員	工 藤 憲 生	北海道歯科医師会常務理事
委員	岡 田 昭 人	北海道歯科医師会理事
委員	戸 倉 聡	札幌歯科医師会理事
委員	藤 本 篤 士	札幌歯科医師会会員

いつまでも口から食べよう運動推進員

No.00001

氏名 道 齒 太 郎

上記の者は健康づくり食生活支援専門委員会に協力する
運動推進員であることを証明する



交付年月日 平成16年 月 日

北海道歯科医師会長

実
物
大

いつまでも口から食べよう運動推進員

No.00001

氏名 道 齒 太 郎

上記の者は健康づくり食生活支援専門委員会に協力する
運動推進員であることを証明する

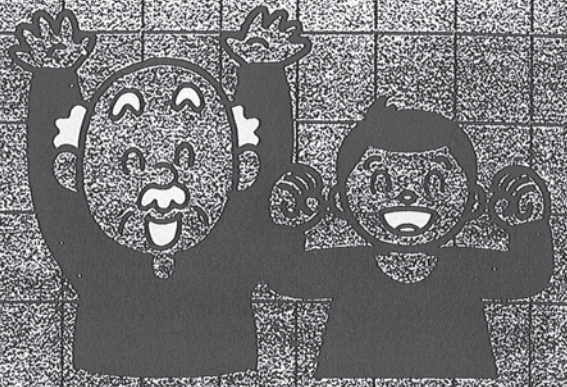


交付年月日 平成16年 月 日

北海道歯科医師会長

健康な歯を
守りましょう！

推進員 募集



いつまでも口から食べよう 運動推進員

高齢者の方がいつまでも健やかに暮らすためには、口から食べられることがとても重要です。口から食べることは栄養学的にも優れているだけでなく、脳の衰えを防止したり、ぼけの進行を緩やかにするといわれています。いつまでも口から食べ続けることがいかに大切なことかを、みなさんと一緒に広めていきたいと考えています。

(詳しくはホームページで)

<http://shoku.doushikai.net/index.htm>

孫の歯を守る推進員

いま子どもたちの食生活には、ペットボトル症候群、味覚障害、偏食、孤食、朝食欠食など多くの問題が取り巻いています。なかでも柔らかい食事が好まれ、手軽なファーストフードの摂りすぎに見られるように「噛む」ことの大切さが軽視されてはいないでしょうか。子どもたちの歯や口だけではなく、望ましい食習慣や、食環境を守っていきましょう。

※入会金・会費等は一切かかりません。

お問い合わせ・お申込み

北海道歯科医師会

〒060-0031 札幌市中央区北1東9-11 TEL 011-231-0945 FAX 011-271-7514

E-mail suishinin@doushi.net

！食事が楽しい健康宣言！
噛むcome歯っぴい